

まき 倶楽部

2019
秋
Autumn



トピックス

『チームリハビリテーションと
リハビリテーションカンファレンス』
～快適な家庭復帰・
社会復帰をめざして～
／牧リハビリテーション病院

vol.119



INDEX

- ◎ 牧整形外科病院での感染管理の取り組み～みんなで取り組む感染対策～
／牧整形外科病院
- ◎ 脱腸（そけいヘルニア）にご注意！／牧病院
- ◎ 新入職医師のご紹介／牧リハビリテーション病院・牧整形外科病院・牧病院
- ◎ 介護老人保健施設における介護サービスの提供／牧老人保健施設
- ◎ 「夏に負けない」出前料理教室／守口第5地域包括支援センター
- ◎ 『いつまでも元気はつらつと！』～地域の体操教室へいらっしやい～
／旭区東部地域包括支援センター

理学療法士



理学療法では、基本的動作能力（寝る、起き上がる、座る、立つ、歩く等）の改善を目的にリハビリテーションを実施します。患者さんの基本的動作能力の改善に合わせて作業療法士・言語聴覚士と連携を図り、日常生活動作の自立獲得をめざしています。また、動作の回復に合わせて病棟スタッフと相談し、病棟生活での移動方法を車椅子がよいか、杖歩行にするのがよいか等を検討し、リハビリ室で出来た動作を実際の病棟で実践していきます。

作業療法士

作業療法では、日常生活動作機能の改善を行います。例えばトイレの動作では理学療法士と相談し、安全な移り座りができるようにリハビリ練習を行い、その内容を病室でも活かせるように病棟スタッフと相談します。また、食事動作に関しても言語聴覚士と誤嚥しない姿勢を相談し、リハビリでは少しでも自己摂取が出来る様に、その人に合った食器を考えて食堂で病棟スタッフと確認調整を行います。

言語聴覚士

言語聴覚療法では、失語症の患者さんとの「コミュニケーション」については、言葉が出やすい方法や理解しやすい方法を検討し、チームで共有していきます。嚥下障害（飲み込みの障害）の患者さんの「食事」については、言語聴覚士が行うリハビリテーション以外にも、食べる姿勢は理学療法士、食べ方は作業療法士、食事にかかる時間や摂取量は看護師、栄養状態は栄養士からといったようにチームで情報交換をしながら、安全に食事が行えるよう努めています。

『チームリハビリテーションとリハ ～快適な家庭復帰～

皆さま、リハビリテーションの語源をご存知でしょうか。意味で、患者さんの全人的復権を意味し、医療にかか
その関わり方は多彩で、ある専門職のみでリハビリテ
剤師・理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚
職種がチームとなり、リハビリテーションを進めます。患
立て、同じ目標に向かって各職種で専門的な解析と計画
ムリハビリテーション』です。

当院はリハビリテーション専門病院として回復期リハビ
で第1回目のカンファレンス（＝患者情報交換会議）を開
確にして解決手段を検討し最終目標を設定します。目標
各職種の専門的なリハビリテーションが日々実施されま
がある度に何度も開催され、リハビリテーションの進行
けでなく、退院後の生活を見据えた介護サービスの導入
そして無事に目標が達成できればよい『退院』を迎
私たちは、患者さんの一日でも早い快適な家庭復帰・
社会復帰をめざして、日々質の高い『チームリハビリテ
ーション』を行っています。



新入職医師のご紹介

まき あつひこ
◎顧問 牧 淳彦 (令和元年5月13日入職)

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医

やすなが つのる
◎副院長 泰永 募 (令和元年8月1日入職)

日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医

『ビリテーションカンファレンス』 社会復帰をめざして～

か?リハビリテーションとは、『もとのかたちに戻す』とい
わるひとつの治療方法です。

ションが行われるのではなく、今では医師・看護師・薬
士 (ST)・管理栄養士・介護士・相談員といった多くの
者さんの状況を情報共有して一人ひとりに合わせた計画を
を共有しながら社会復帰、家庭復帰を支援するのが『チー

リテーション病棟を有し、患者さんが入院されたら1週間
催します。カンファレンスでは、その患者さんの課題を明
が設定されたら日常動生活動作の改善・向上をめざして
す。カンファレンスは一人の入院患者さんに対し機能改善
状況を各職種で確認します。また、入院中のリハビリだ
や各種手続きなどもこのカンファレンスで確認します。
えていただきます。



相談員

相談員（医療ソーシャルワーカー）は、療養中の心理的・社
会的・経済的問題の解決、調整援
助を行う専門職です。患者さんは、家庭では、妻や夫、
親といった役割をお持ちです。社会人として、仕事、自治
会・老人会などの地域活動をされている方もいらっしゃ
います。習い事やご友人との交流も大切な役割です。
相談員は、患者さんが病気や怪我のためにそのような役
割を失わないように、また一部でも維持していただくに
はどうすれば良いかということを主眼に置いています。
カンファレンスでは、患者さんの社会的役割や生活状
況、介護保険など公的制度の利用状況を他職種に伝
え、目標と現実のギャップを埋めるための方策をチーム
で議論しています。



医師

医師は、病状・合併症・手術内
容・投薬内容・検査データ等の
医学的側面より患者さんの全
体像を把握し、リハビリの際の問題点の整理(禁忌
肢位・荷重の時期・中止の基準等)、解決策の検討
(疼痛コントロール・装具作成指示等)、目標の設定
(短期・長期)を行います。カンファレンスの内容はリ
ハビリ総合実施計画書に反映され、1か月ごとに患
者さん・ご家族に主治医から説明することになって
おり、ADLの到達度、患者さん・ご家族の要望に応じ
て目標を軌道修正し、入院期間を設定しています。



看護師

看護師は24時間患者さんの
生活に密着しており、リハビリ
の訓練で獲得した能力を実生
活で活かせるように「できるADL」から「している
ADL」へ支援し、入院時から退院後の生活を見据え
た援助を行っています。リハビリテーションを安全に
行う上でも看護師による病状把握、異常の早期発見
は欠かせません。また、限られた入院生活を効果的
に過ごしていただくために、他職種との情報共有、
連携が必要となり、患者さんと共に各職種が同じ目
標に向かって日々歩んでいくためにもリハビリカン
ファレンスが重要となります。



管理栄養士

リハビリの効果を上げるに
は、十分な栄養を摂ることが
必要です。低栄養状態でリハ
ビリをしても筋肉の分解を進めてしまうといわれて
います。管理栄養士は、患者さんそれぞれの疾患や
活動量を考慮した上で必要栄養量を計算していま
す。日々食事摂取率や体重変化、採血データの推移
を確認し、栄養状態の向上に努めています。また、退
院後水分のトロミ付けや嚥下調整食が必要な患者さ
んには、食事の作り方をご紹介したり、自宅に帰っ
ても栄養不足が心配される場合には様々な高栄養
補助食品や調理方法をご提案することにより、退院
後も安心して食事ができるよう支援しています。





牧整形外科病院での感染管理の取り組み ～みんなで取り組む感染対策～

薬剤科 副主任 中井 亜由美 (なかい あゆみ)

令和元年6月14日(金) 市立豊中病院の感染管理認定看護師 鈴木 徳洋先生を講師でお招きし、職業感染・感染管理に関する研修会を牧整形外科病院で開催しました。

『職業感染』の事例として挙げられるのは、使用済み注射針を誤ってスタッフに刺してしまう『針刺し』があります。起こらない方が良いのはもちろんですが、起こらないよう努力をしても完全にゼロにすることは困難です。万が一の事故に備えてスタッフがワクチンを接種しておくこと、自身のウイルス抗体価を把握しておくこと、事故が起きた場合は焦らずに対処することが重要になります。

『感染対策』では、手指衛生の実施や咳エチケット・周囲環境対策などが挙げられるスタンダードプリコーション(標準予防策)の徹底が最重要です。

中でも手指衛生の実施は感染の拡大を防ぎます。目に見える汚れには石鹸で手洗い、見えない汚れにはアルコールなどの手指消毒薬が効果的と言われています。実際に手洗い後と手指消毒後で手に残る菌数を比較すると、手指消毒後の方が遥かに少ないです。また、手指消毒は短時間で場所を選ばず実施できることから、身近な感染防止策です。

院内ではアルコール消毒薬の使用量を調査していますが、研修会後の使用量は確実に増えました。本研修会の一つの成果です。

私たちが働く医療の現場では、日々感染管理を1人1人の職員が意識し実践しなければなりません。

当院を利用させていただく患者さんの安全、安心な医療を提供できるように日々病院全体として取り組んで参ります。



整形外科 — 新入職医師のご紹介 —



藤本 和也 (ふじもと かずや)

2019年4月に医局人事で牧整形外科病院に赴任しました藤本 和也と申します。

2015年に関西医科大学を卒業し、国立大阪医療センターで2年間初期研修医として様々な診療科をローテーションしました。2017年から関西医科大学整形外科に入局し、関連病院(関西医大附属病院、関西医大総合医療センター、明治橋病院)で整形外科医として勤務しております。

当院赴任後は主に外傷チームの一員として骨折の手術を多く執刀する機会があり、恵まれた上級医、スタッフ、設備の下で働けていることを日々実感しております。まだ後期研修中の身であるため専門分野が決まっていのですが、今後は外傷に限らず様々な疾患やリハビリテーションについても勉強をし、多くの症例に積極的にに関わり、経験を積んでいこうと思っておりますので何卒よろしくお願い致します。

脱腸 (そけいヘルニア) にご注意!

脱腸 (以下、そけいヘルニア) は子どもに発症する病気と思われがちですが、成人のとくに中高年に多い病気です。

最初の症状は、太ももの付け根付近 (そけい部) に出るポコッとしたふくらみで、立ち上がった時、何かを持ち上げたりしたときなど、おなかに力を入れたときに出やすい傾向があります。そのふくらみは、内臓を保護している腹膜や腸の一部が飛び出してきたもので、ヘルニアとは「飛び出す、はみ出す」という意味です。ふくらみの大きさはピンポン球や鶏卵くらいですが、さわるとやわらかく、手で押ししたり、からだを横にしたりすると、たいていは引っ込んでしまいます。そのため不安を感じながらも、放置していることが少なくありません。そして同じ症状をくり返すうちに次第に大きくなり、ひきつような痛みを感じてきます。さらに放置していると、手で押ししても引っ込まず、痛みも強くなってきて、歩くのもつらくなります。こうした状態を「嵌頓 (かんとん)」といいます。飛び出した腸などが詰まる腸閉塞や腹膜炎などを起こしやすく、生命にもかかわるほど危険性が高くなります。

そうなる前にきちんと受診することが大切です。

治療方法は?

そけいヘルニアは薬で治すことはできず、基本的には手術が必要です。ヘルニアバンドやヘルニアサポーターなどで外側からおさえる方法もありますが、これらは手術までの一時しのぎと考えたほうが良いでしょう。

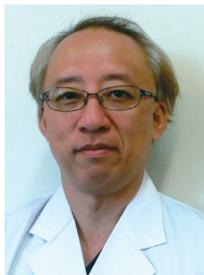
一般的な手術は、ゆるんですき間ができたそけい管や筋膜の部分に、体内で広がってすき間をふさぐ形状記憶タイプのメッシュシート (クワゲルパッチ) やメッシュのプラグ (栓)、シートの人工補強材を入れ、飛び出してこないようにする方法です。このメッシュ法だと局部麻酔で済み、傷も小さいのでからだへの負担も軽減できます。

しかし、腸などがもどらない状態のまま悪化していると、切除手術などが必要になることもあります。とくに、腸の組織が壊死 (えし) 状態を起こしている場合には、遅れると生命にかかわるため、緊急の大きな手術になる可能性もあります。

そけいヘルニアを疑う症状があらわれたら、早めに受診しましょう。

新入職医師のご紹介

外科 (常勤)



横井川 規巨 (よこいがわ のりお)

【専門分野】 一般外科、消化器外科

【資格】

日本外科学会専門医、指導医
日本消化器外科学会専門医、指導医
日本肝臓学会専門医
消化器がん外科治療認定医

【外 来】 水曜 午前診

【趣 味】 ミュージカル鑑賞

2019年8月に牧病院に入職しました外科の横井川 規巨と申します。

1996年に関西医科大学を卒業し、大阪と京都の関連病院で一般外科、消化器外科の診療に携わってきました。大学病院勤務時代には消化管外科手術、肝胆膵外科手術を学びました。これらの手術経験、診療経験を活かし、地域医療に少しでも貢献できるように頑張っていきますので宜しくお願い致します。

内科・漢方外来 (非常勤)



大林 美由樹 (おおばやし みゆき)

【専門分野】 心療内科、一般内科

【資格】

日本内科学会認定内科医
日本医師会認定産業医

【外 来】 月曜 午後診

【趣 味】 のんびりドライブ

2019年8月に牧病院に入職いたしました、大林美由樹と申します。私は2009年に川崎医科大学を卒業し、2011年から関西医科大学附属病院で心療内科に所属しています。

心療内科と申しますと、一般的にはプチメンタル医のイメージが強いのではないかと思います。私は珍しい内科医の心療内科医です。ちまたの心療内科の大半は精神科の先生が多いのですが、私が所属する関西医大では身体疾患をメインに診療しています。一言で違いを言えば、内科医による心療内科は総合内科の色合いが強く、関西医大の心療内科学講座は総合診療部を内包しており、精神科は別部門となります。内科系心療内科医として私はメンタルが体に及ぼす影響を勉強しつつ、目標はメンタル面も含めた相談に乗る「何でも内科」です。漢方に惹かれるのも幅広い疾患を診療できる懐の深さゆえでした。

この機会に漢方を扱う腕を磨き、さまざまな患者さんの相談に乗れる医師に成長したく思っています。どうぞよろしくお願いたします。

～介護老人保健施設における介護サービスの提供～

牧老人保健施設 支援相談員 黒田 千春(くろだ ちはる)

近年介護老人保健施設(老健)では、在宅支援機能の強化が求められており、そのひとつとして在宅復帰機能も重視されています。在宅復帰機能とは、老健に長期間過ごして頂くのではなく、入所期間中に様々な準備を整えてご自宅での生活に戻って(在宅復帰)頂く支援機能となります。

様々な役割を果たすためには、各職種が専門性を発揮しながら、医療や保健、介護など職種の垣根を超えてチームとしてご利用者にサービスを提供し、利用者を中心に円で囲むように手を取り合って支援をする体制づくりが必要です。

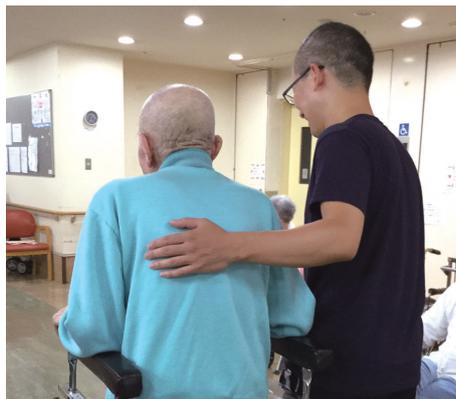
牧老人保健施設(まきろうけん)でも、在宅支援機能・在宅復帰機能を高めるため、リハビリテーション専門職(PT・OT・ST)によるリハビリだけでなく、普段の生活をどのように過ごして頂くかも大切にしています。

歳を重ねていくにつれて身体を動かさない時間が多くなると、運動機能の低下が進行していくリスクが高くなります。

リハビリ専門職によるリハビリは20分と時間が限られていますが、この20分のみでのリハビリだけでは運動機能の向上は十分ではありません。

そのため大切なのは1日24時間入所者のケアを行っている介護職員の関わりとなります。入所前後・退所前に他職種で自宅を訪問し、ご自宅での生活を確認させて頂きながら、日常のケアの中で、在宅生活に必要な生活目線・在宅を想定した生活動線等、その人の在宅生活を想定しながら施設生活を送って頂き、必要に応じて施設でのケアの様子を確認頂きながら、在宅復帰に繋がるようケアを行っています。

在宅復帰するために必要な目標や計画を立てて、それぞれの職種の専門性を発揮しながら、チームでケアを行っています。



「夏に負けない」 出前料理教室

守口第5地域包括支援センター 管理者 矢倉 宏範 (やぐら ひろのり)

去る7月16日、家族介護支援事業「夏に負けない」出前料理教室を南部コミュニティセンター3階調理実習室にて開催し、29名の方にご参加いただきました。講師に明治乳業の管理栄養士をお招きしました。メニューはカルシウムを取りやすいように「中華風炊き込みご飯」「ごまだれヨーグルトのバンバンジー」「中華風そばろあんのミルク茶碗蒸し」「杏仁豆腐風ヨーグルト」という豪華な内容となりました。

包丁でトマトやキュウリ、ザーサイなどを切り、鍋でミンチや白ネギを炒め、皆さんご自宅の台所のように調理されていました。途中、複数の炊飯器でご飯を炊いたため、ブレーカが落ちてしまうハプニングがありましたが、とても楽しいひとときを過ごすことができました。「今度、家族の為に作ってみよう」と話しながら、隠し味に『優しさ』を入れて腕を振るっておられました。最後に全員で「いただきます」をして、試食！

一番人気は「中華風そばろあんのミルク茶碗蒸し」でした。皆さんの楽しそうな表情を見ながら、ぜひまた来年も開催したいと思いました。



『いつまでも元気はつらつと！』 ～地域の体操教室へいらっしやい～

旭区東部地域包括支援センター 管理者 松田 真人 (まつだ まさと)

こんにちは！旭区東部地域包括支援センターです。

私達は地域でお住まいの高齢者の皆さんが、いつまでも元気でいきいきと過ごしていただけるよう介護予防活動に積極的に取り組んでおります。その活動の主な一つとして旭区東部地域内で開催されている体操教室があり、地域の皆さんや牧病院の理学療法士のご協力の下、月1～2回の頻度で開催しております。近所にお住まいの方々も気軽にご参加いただけるよう、ストレッチや簡単なレクリエーションなど毎回楽しめる内容になっています。

「ぜひ参加してみたい！」という方がいらっしやれば旭区東部包括支援センター (06-4254-3336) までご連絡をいただければと思います。

参加費無料でお友達同士のご参加も大歓迎です。皆さんのご参加をお待ちしております。



「健康教室」開催のお知らせ

10月26日(土) 午後2時30分より

テーマ：「漢方外来って、何をするとおころ？
～漢方薬を生活に活かすコツ～」

講師：漢方外来 田中 秀一医師

場所：牧病院 4階研修室



1月25日(土) 午後1時30分より

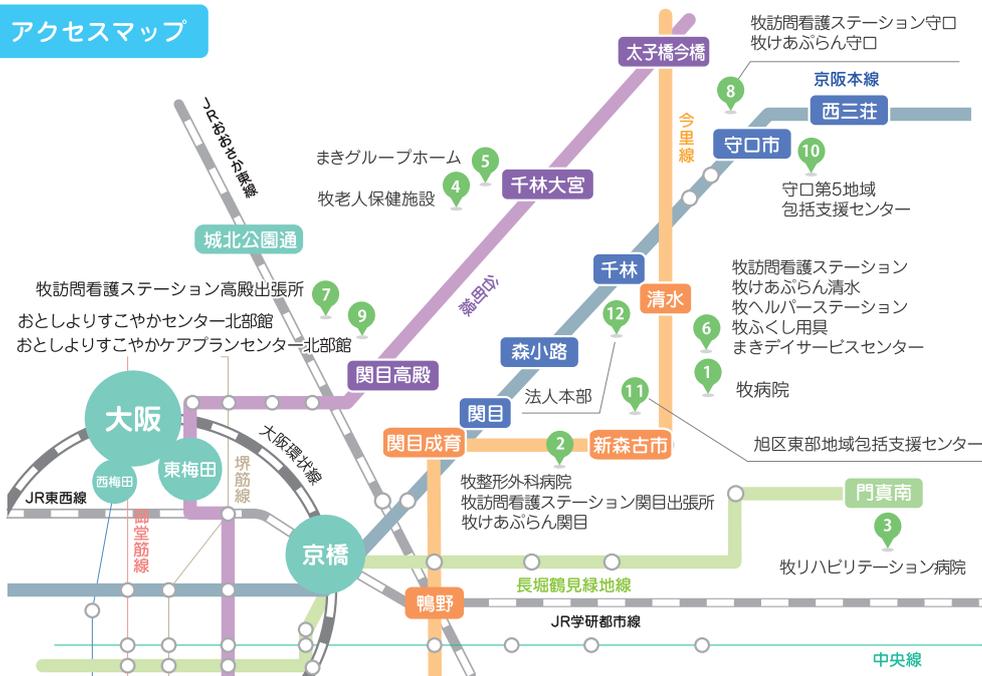
テーマ：「脱腸(ソケイヘルニア)にご注意!」

講師：外科 横井川 規巨医師

場所：牧病院 4階研修室

※いずれも事前の申し込みは必要ありません。ご参加お待ちしております。

アクセスマップ



牧ヘルスケアグループ 医療法人清翠会

私たちの理念

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

私たちの約束

『Professional』

医療人としての誇りと謙虚さをもち、日々研鑽を重ねます。

『Heart』

あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

『Team』

和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

1 牧病院

〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28
TEL: 06-6953-0120

牧病院デイケアセンター

TEL: 06-6953-1881

牧病院訪問リハビリテーション

TEL: 070-5043-0494

2 牧整形外科病院

〒536-0008 大阪市城東区関目6-15-30
TEL: 06-6786-6200

牧訪問看護ステーション関目出張所

TEL: 06-6786-6231

牧けあふらん関目

TEL: 06-6786-6230

3 牧リハビリテーション病院

〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3-6-34
TEL: 072-887-0010

牧リハビリテーション病院

訪問リハビリテーション門真

TEL: 072-887-0010

牧リハビリテーション病院デイケア門真

TEL: 072-887-0050

4 牧老人保健施設

〒535-0004 大阪市旭区生江2-15-14
TEL: 06-6929-0300

5 まきグループホーム

〒535-0004 大阪市旭区生江2-14-24
TEL: 06-6929-5355

6 まきデイサービスセンター

〒535-0021 大阪市旭区清水4-2-22
TEL: 06-6953-1506

牧訪問看護ステーション

TEL: 06-6953-1222

牧ヘルパーステーション

TEL: 06-6953-1107

牧けあふらん清水

TEL: 06-6953-1235

牧ふくし用具

TEL: 06-6958-1030

7 牧訪問看護ステーション高殿出張所

〒535-0031 大阪市旭区高殿6-18-41-107
TEL: 06-4254-6660

8 牧訪問看護ステーション守口

〒570-0028 大阪府守口市本町1-7-21-102
TEL: 06-6991-5556

牧けあふらん守口

TEL: 06-6991-5557

9 大阪市立介護老人保健施設

おとしよすこやかセンター北部館

〒535-0031 大阪市旭区高殿6-14-41
TEL: 06-6955-4865

おとしよすこやかケアプランセンター北部館

TEL: 06-6955-7511

10 守口第5地域包括支援センター

〒570-0033 大阪府守口市大宮通1-13-7
TEL: 06-6992-1180

11 旭区東部地域包括支援センター

〒535-0022 大阪市旭区新森4-27-13
TEL: 06-4254-3336

12 法人本部

〒535-0021 大阪市旭区清水2-11-14
TEL: 06-6953-0190